

第30 回日本学連オリエンテーリング連盟総会議事録

日本学生オリエンテーリング連盟広報部

日時: 1999年11月13日

会場: 日光市体育館会議室

出席: 加盟校27校(遅刻の2校を含む)、準加盟校1校

委任状: なし

1. 議長の選出

後藤友宏(北海道3)承認

2. 役員自己紹介

幹事長西脇

3. 2000(平成12)年度日本学連幹事選挙

幹事長井下田哲(都立3)

24 / 25承認

副幹事長池田和香子(東北3)

25 / 25

承認会計立候補者なし

事業部長立候補者なし

広報部長吉村浩二(京都2)

26 / 26承認

事務局長立候補者なし

4. 1999(平成11)年度日本学連臨時委員会委員長の選出

活動報告書作成委員会委員長大森健史(慶応3)

24 / 26 承認

5. 活動報告書作成に関する報告と原稿依頼等(大森)

まだ着手していない状態。正式な原稿依頼は近日各校渉外などに発送する。締め切りは絶対厳守すること。

6. 交換留学生の措置に関する報告

・ アンケートに関する説明(西脇)

意見を聞くアンケートを各校で全員に配布してもらう。アンケートの回答をより多くの加盟員にお願いしたい。

(質問)

「アンケートの[国際的に留学生はインカレに参加できる場合が多い]とは、具体的にいうとどういう例があるのか？」

- - 羽鳥氏(技術委員会)の話から、ヨーロッパ(スウェーデンなど)が当てはまるらしい。

「他のスポーツの大会での留学生への対処は調査したか？」

- - インターネット上で検索した。卓球や駅伝で制限を置く例があった。

7. 関西学連・北東学連規約改正に関して

関西学連:改正後の規約を配布資料に掲載。

24 / 26承認

北東学連:諮問委員会の設置事項制定。

25 / 26承認

8. 新歓パンフに関して(木村理事)

去年度と違い、各大学からの依頼があった時それに応じて配布する。最大5万部印刷・配布予定。
5万部印刷するとして費用20万円を申請する。

(質問)「ポスタ - をつくる予定は？」

ない。コストがかなりかかるため。

(質問)「1校あたり申請できる部数の上限は？」

去年は2000部だったが、今年は各校からのリクエストを聞いてから調整して決めたい。

20万円の予算申請25 / 26 承認

今後各加盟校に新歓パンフに関するアンケートを実施予定。

9. 会計運用細則の訂正に関して

学連会計運用細則第11条3項の「テクニカルアドバイザー - 」を「大会コントロ - ラ - 」に訂正

26 / 26で承認

10. 会計報告等

1) 1998年度決算報告

98年度会計千脇氏欠席のため次回総会に持ち越し

2) 1999年度中間報告(横室)

中間報告を配布。賛助会員数が予定より少なかったため、賛助金収入が予算を下回っている。

3) 2000年度ICS予算申請に関して(木俣実行委員長)

緊急事項適用に関して予算交付願いを提出する。

(質問)「どの学連会計事項からICS予算がでるのか？」

予算に書いていないことなので、予備費から出すことになる。

予算申請23 / 26 承認

11. 理事会会計報告(土方理事)

配布資料の訂正・追加

1. 「第23回インカレ」の後に、「実行委員会の承認並びに大会コントロ - ラ - の指名。実行委員長の承認並びに大会コントロ - ラ - の指名を以下の通り行った。」を追加。

2. 「第8回インカレショ - ト」の後に、「実行委員会の承認並びに大会コントロ - ラ - の指名。実行委員長の承認並びに大会コントロ - ラ - の指名を以下の通り行った。」を追加。

6. 公式ホ - ムペ - ジ運用の活用例の「」内の文章を「テレインに関する最新の情報はHPに掲載されている。」に訂正。

9. 毎日新聞社のインカレ後援について「クラシックの後援は大丈夫そうであるが」を「クラシックの後援に問題はないが」に訂正。

10. 賛助会員制度について「賛助会員としての・・・最低限必要である。」の文章を次のように訂正。「賛助会員としての特典は、インカレ地図の無料提供を受けること、会員名簿の提供を受けること等であるが、学連は出資者である賛助会員へ会計報告程度を行うことは必要である。」

12. 第七回インカレショ - ト裁定委員の指名「上田泰正(早大卒):理事長」を「上田泰正(早大卒):日本学連理事長」「奥村理也(東大卒):技術委員」を「奥村理也(東大卒):日本学連技術委

員」に訂正。

- 休憩(15分) -

12. 幹事会活動報告

新規加盟校補助の申し合わせについて(古川)

(質問)「3(対象)の文章は箇条書きなどで分かりやすくする方がいいのでは？」

次回総会までに書きなおして、次回総会で承認をとる。

13. 各部局活動報告

1) 事業部(木俣)

インカレガイド発行

2) 広報部(池田)

12月上旬いぶき第3号発行予定

3) 事務局(石原)

インカレエントリー - 開始

14. 地区学連活動報告

1) 北東(井上)配布資料参照

2) 北信越(秋保)配布資料参照

3) 関東(井下田)配布資料訂正・追加・「12月23日関東インカレ個人戦」を「12月23日関東インカレ団体戦」・12月5日の関東インカレ個人戦併設参加あり。

4) 東海(馬淵)配布資料参照

5) 関西(横江)学連合宿の日程1月8日から10日に決定

15. 各委員会報告

1) 第7回インカレショ - ト実行委員会配布資料参照

2) 第22回インカレ実行委員会配布資料参照

3) 2000年度インカレショ - ト実行委員会(木俣実行委員長)要項1(BULLETIN1)発行。立入り禁止区域提示。

4) 2000年度インカレ実行委員会実行委員長松久氏に決定。配布資料(「2000年愛知インカレ」を「2000年度愛知インカレ」に訂正)に会場を(立入り禁止区域に関しても)公表した。

5) 技術委員会(羽鳥技術委員長)11月13日付けの配布資料を参照。

(質問)

「実施したときに、インカレから突然採用するのか？」

関東学連リレ - で試験的に採用することが考えられる。

「ウムの時間(3、4走)はどのように決めたのか？」

3走ウムになるようなレベルの低いチ - ムを考慮して4走の時間を早くした。

「関西でとった意見はどうなったのか？ 出た意見の公表行うのか？」

希望があるならば実施する。

16. 理事会報告(追加)(山川理事)

クロ - ズトレインノリザ - ブトレインに関する申し合わせ事項改正案について、意見を聞きたい。

今回の目的はクロ - ズトレインのクロ - ズの緩和。大会開催3年前はリザ - ブとし、2年前からクロ

日本学生オリエンテーリング連盟

- ズとする。今までのような4年間クロ - ズでは、メリットよりもデメリットが大きい。

17. 次回の総会の日程(西脇)

3月13日(月)第22回日光インカレ閉会式翌日

18. 諸連絡

世界オリエンテ - リング選手権2005大会の誘致について(ドリ - ム2005プロジェクト)配布資料を参照。署名活動参加へのお願いについて。

以上